



Garment Girls of Bangladesh

おおさか社会フォーラム[2012年9月15日-16日]プレフォーラム

もうひとつのグローバル化
 Bangladeshの衣料産業について考える
 映画上映と講演

2011年11月19日(土)18:00-21:00

エル・おおさか 701(京阪/地下鉄谷町線・天満橋下車5分)

参加カンパ: 500円

第1部: 映画「ガーメント・ガールズ」上映とお話

第2部: 南アジアの活動家とのインターネット討論(英日通訳つき)

主催: おおさか社会フォーラム実行委員会
連絡先: 市民オフィス SORA tel:06-7777-4935
<http://osaka.socialforum.jp/>



Garment Girls of Bangladesh

第1部 映画上映とお話

映画: 「ガーメント・ガールズ」(2007年, バングラデシュ, 日本語字幕64分)

お話: 小吹岳志さん(フェアトレード・サマサマ、オイコクレジット・ジャパン事務局長)

「Garment Girls of Bangladesh- バングラデシュの衣料工場で働く若い女工たち」タンヴィール・モカメル監督。日本や欧州で売られている衣類の生産委託工場はバングラデシュにシフトしています。この映画では、特に工場で働く若い女性に焦点を合わせ、工場での問題点を浮かび上がらせると同時に、安価な商品を求める私たち消費者にも問題提起しています。バングラデシュ映画協会連盟ドキュメンタリー部門最高賞受賞(2007年)

第2部 南アジアの活動家とのインターネット討論(英日通訳つき)

バングラデシュ・ダッカと大阪の会場をskypeでつなぎます。

南アジア社会フォーラム(2011年11月18-22日、ダッカ)と同時開催。同フォーラムは、「南アジアにおける社会的変革のための民主主義-参加、平等、公正、平和」をテーマ開催され、南アジア各国から約2万人が参加するほか、世界各国でインターネット参加が計画されています。

今回のイベントは、2012年9月15-16日に開催を予定している「おおさか社会フォーラム」のプレフォーラムとなります。グローバル化の中で、「底辺に向けた競争」の矛盾が集中するバングラデシュ。安い衣料品を生産する労働者たち、ユニクロをはじめ多くの日本企業の進出、私たちにできること、私たちに問われていることは何か? 映画と講演、南アジアの活動家との討論を通じていっしょに考えてみませんか?



エル・おおさか
京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m